

教科別研修講座報告

平成 30 年 8 月 2 日 (木)

C001 小学校国語科研修講座

「思考することを楽しむ授業づくり

～文学的な文章を中心に～」

講師 筑波大学附属小学校教諭 青山 由紀 氏



〈内容の詳細〉

1 全国学力調査と県学力調査から見た課題について (講義)

H30 年度全国学力調査の良好な点と課題となったことについて、福井県県学力調査の結果もふまえて、改善案を提示。

2 系統的に育てる文学的な文章を読む力 (講義・演習)

「やりたい」「やりとげる」をキーワードに主体的・対話的学びに必要な条件について講義。教科書教材を使って、課題設定の工夫や「読めたつもり・分かったつもり」を揺さぶる発問例を具体的に提示。

3 「主体的・対話的で深い学び」を実現させる学習課題と実践～各学年の実践～ (講義・演習)

各学年の文学的文章教材を使って、「構造化して読む」「書き手の意図を読む」「主題をとらえる」といった指導の系統性について。

4 演習のまとめ (協議)

今、求められている授業づくりにおける、「対話」をベースに自分の考えを作ることの必要性について。



〈受講者の声〉

- ・主体的な学びが土台にあって、発問で対話生まれ、深い学びになるのだと分かりました。そのためには教師の発問作りが重要だと再認識できました。
- ・文学的文章教材を扱うときの視点、何を考えさせるかといったポイントがよく分かりました。話題の出し方、手立てなどすぐに使えることが理解できました。
- ・対比させて共通性や違いを見つけて、そこから広げていくこと、「かぎとなるもの」に注目して読むこと、人物の変容に注目して読むことなど物語を読むときの指導ポイントをたくさん知ることができました。
- ・物語の授業づくりでは課題を通して、必要な読み取りをしていくことが大事だと分かりました。すべてが実践的で夏休み明けに使いそうなことばかりでした。
- ・物語の読み取りでどのように深めていくとよいかをその方法をいくつかの教材で具体的に知ることができました。また語彙を増やす方法も知ることができました。